

- ・コラム(杉浦 良)
- ・お知らせ(ケニアから来所、留学生ボラ、鮎喰川クリーンアップ)
- ・スタッフ雑感
- ・ご協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

201号/2023 ▶ Since 1984

「赤飯の差し入れ」

杉浦 良

「〇が長年、毎日元気に喜んで太陽と緑の会へ通わせていただき、先月60歳を迎えることができました。有難くおもいます。お赤飯、ひと口ずつで申し訳ありませんが、皆さんで召し上がっていただけたら幸いです。」

〇さんのお姉さんから、こんな有難いお便りと一緒に赤飯を頂きました。

思えば〇さんが当会に来て31年になります。平成4年(1992年)、100キロ余りの巨体が印象的でした。表情が乏しく時折地面に唾を吐く動作と、10分や20分でトイレに入り、いったん入るとなかなか出てこないのが特徴的でした。回収活動に出向く時、信号で車が止まると、突然助手席の窓を開けて唾を吐くので、防止対策としてのティッシュペーパーが欠かせません。

「〇さん！」と名前を呼ぶと「・・・はい・・・」と小声で返事が返ってきます。

「・・・何でそんなに体は大きいのに・・・声は小さいん？・・・」

随分昔の、そんなメンバーSさんとのやり取りを思い出します。



鮎喰川クリーンアップ

無表情、巨体、目付きが悪い、寡黙、小声、唾吐き癖、放屁癖・・・そんな印象も、太陽と緑の会リサイクル福祉共働作業所に通ううちに、少しずつ変わり始めます。

「・・・〇！なんでわしの目の前でオナラをするん！・・・するんだったらトイレか・・・人のいないところでしな！」そう怒鳴るSさんを横目に

「・・・ハハ・・・遠慮せんと匂ってよ・・・」と、ニタツと笑みを浮かべて口ずさむようになりました。

「・・・〇！なんでわしの横で、ゲップしたりツバ吐いたりするん！・・・あっちへ行け！」と迷惑がる〇さんに「・・・ハハハハ・・・そんなに逃げんでもいいわ・・・」と、ゲップとツバ攻撃を止めません。

そんな日々日常を積み重ねるうちに、〇さんの表情が豊かになってきます。

「・・・〇！お前は笑わんやつだと思ったけど・・・笑うんや！・・・あんまりしゃべれん人間と決めつけとったけど・・・大きな声でしゃべるんや！・・・」

〇さんも満更ではありません。事あるごとに「こら〇！」「何しとるんや〇！」「さっさとやらんか〇！」「早くこっちに來い〇！」と、言葉だけ聞けば、パワハラと間違える会話が続きます。

「・・・Sさん・・・そんなに言わんと匂ってよ（ブー）・・・遠慮せんと（ゲッポツ）・・・逃げたらあかん（ペッペツ）・・・」「・・・〇！・・・参った・・・勘弁してくれ・・・」

作業の合間に交わされる言葉のやり取りに、〇さんの心がほぐれていき、Sさんの気持ちも和み始めます。

〇さんもSさんも、方位は違えど様々な困難性を抱えながら、選べるほどの選択肢もなく、当会に辿り着きました。ただ振り返ってみれば、職員の専門性や支援計画の妥当性といった、現在当たり前に交わされる障害福祉領域での言葉の重要性は色褪せるばかりで、むしろ専門職といった人間の支援より、メンバー同士の関係の拡がり・グループダイナミクスの力を、嫌と言うほど感じさせてもらいました。

これまで通い続けた31年間に、〇さんの周りには大きな変化がありました。お父さんが鬼籍入りし、お母さんも天に召され、そしてSさんもこの世から姿を消すことになりました。

今は、無表情、巨体、目付きが悪い、寡黙、小声、唾吐き癖、放屁癖と言ったイメージも、ほとんど払拭され、別人となった〇さんがいます。それは私達の福祉専門性といった範疇よりは、一般市民や行政の理解を頂き、徳島市国府町南岩延に活動拠点を置き、子供から大人そしてお年寄りや外国の方々まで、色々な方がここを訪れ、不用品を持ち込んで下さり、リユース品を購入して下さり、そして様々なハンディーを抱えたメンバーたちやスタッフそしてボランティアが、それぞれやれることをやりながら、リユース・リサイクル活動を39年続けることが出来たお陰だと思っています。

お知らせ

ケニアから来所

4月23日、ケニアのストリートチルドレンを支援するモヨ・チルドレンセンター新代表佐藤さんの話を、朝ミーティング前に聞かせてもらいました。大学の看護学科に入学して、色々な海外支援 NGO に関わったが、松下照美さん（徳島市出身）が立ち上げたモヨ・チルドレンセンターが、一番地に足がついていると感じたそうです。

そんな感性を持ち合わせた彼女の話を目に聞くメンバー達、日本から飛行機でどの位かかる？ケニアで美味しい料理は？など活動とは関係ない質問も飛び出し、なかなかのミニ講演会でした。松下照美さん亡き後を引き受けたバイタリティーに頭が下がるだけでなく、そのスピリットの持続を願います。

照美さんの送迎をしていただいていた妹さんが、今回も佐藤さんを連れてこられました。地道な支えでこの活動が成り立っている事を、改めて思います。

留学生ボランティア

4月23日、四国大学短期大学部3年生のAさんがボランティアとして終日活動に参加してくれました。中国山東省のご出身で介護福祉を勉強するために日本に留学されているとのことでした。

昼食もメンバーKさん手づくりのカレーと一緒に食べてくれました。今回は先日お客様から頂いてあく抜きしておいたタケノコも入っています。「おいしい」とAさんに言ってもらってKさんもうれしそうです。「ごめんなさいって中国語で何て言うの」「実家に帰るときはどこの空港から行くの」

「お父さん、お母さんは中国にいるの？」
Aさん、ありがとうございました

鮎喰川クリーンアップ2023

徳島市国府町南岩延の太陽と緑の会周辺を何回かに分けてエンジン刈払機での草刈り後、ポイ捨て空缶ペットボトル等の回収を、四半世紀以上続けてきました。今年は5月4日、30日、6月4日、5日、11日と後にずれ込みましたが、無事終了。

今から20年以上前、月の宮作業所での草刈りやトラクター耕起をボランティアでしてくれた、今は亡きK理事。リョービのEKK220を地元の金物店でK理事用に購入しました。3年程前エンジン不調で、キャブレターのオーバーホールとプライマリーポンプ・燃料ホース交換等で復活しましたが、また不調。リョービも京セラに委譲されましたが、ワルボロWYL汎用キャブと燃料キャップ（今までののはヒビが入り補修して使用）をネット購入して再復活。あの世で見ているでしょう。

通常総会開催

6月17日午後6時半より、正会員13名の皆様が出席して、太陽と緑の会通常総会を行いました。

当初からボランティアとして活動に関わって下さっているMさん、Tさん、28年前にリユース品のお買い物に来て下さったことからご縁が始まったKさん、ボランティアや会員としての関わりから始まり、後に職員としても活動を支えて下さるようになったAさん、Bさん、31年来のお付き合いであるCさん、8年ぶりに参加して下さったFさん、昨年からは参加して下さっているNさん…。

当会の活動報告と合わせて、会員の皆様からの近況報告も行いました。

スタッフ雑感

私が太陽と緑の会の存在を知ったのは平成27年12月のことでした。生まれて初めて福祉の仕事に関わることとなりました。「人も物も活かされる」「メンバーさんが一番輝けるように」と若き先輩スタッフがよくいっていました。

福祉に何の知識も持ち合わせていなかった私は補助的な立場だと思っていたので先輩スタッフがなくなった時、不安で毎日が手探り状態でした。

早いもので8年が過ぎて私の意識も変わっていきました。

朝から作業をなかなかしないメンバーさんと大声で言い合いをすることがあっても私が重い物を持っていたら持ってくれたり、私の体の調子が悪い時は「体は大丈夫なんか、無理せんように」と声をかけてくれたり、どっちがメンバーさんなのかわからないなと思ったりします。

朝、私が遅刻すると車が見える所で待っていてくれるけど車がみえると走り去ってしまうメンバーさん。

帰りには必ずのように挨拶と「明日は何の作業をしましょうか。」と聞いてくれるメンバーさん。

顔を見て話をするのが毎日楽しみでハンディがあるメンバーさんである事を忘れて接してしまいます。

又、お客様から頂いた品物も真摯に値段を付け、活用させていただき別のお客様がお買い上げいただいた時、値札付け、陳列、売場の整理をしてくれたメンバーさんと喜びを分かち合っております。

2年前から髪の毛を伸ばし始めました。お客様から「ガンで髪を失った人に贈ることができる」とのこと。これも太陽と緑の会に御世話になっていなければ思い付かなかったことで奇しくも今年、叔母が大腸ガンで亡くなった歳に私もなりました。

一日一日が早く過ぎ、メンバーさん、若いスタッフの方に助けをもらいながら、メンバーさんと一緒に少しずつ成長していければと思っております。

(専任職員:藤高まゆみ)



太陽と緑の会定休日

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

定休日

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2023年3月1日～2023年5月14日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下さった皆様

後藤、清田、板東、匿名、米沢、藤村、西谷、久次米、友成
(郵便振替口座) 太田、三代田、榎本、武田

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○小野原、竹中、乃一、真木野、福島、川人、木下、西村、佐藤、中園、和田、岸、小西、浜野、笠井、坂東、勝山、杉本、山下、井筒、バロッグ スーザン、堀、井高、四宮、シカタ、森西、石山、小川、ミセ、山田、吉成、小山、榎本、阿部、関谷、竹岡、和泉、流、柳川、山口、フジモト、古川、森下、山本、岩崎、領家、原田、小島、小路、小西、河野、林、武市、竹内、蟻井、織田、上田、戸出、宮本、島谷、藤高、西真田、桑島、松岡、内田、セタ二、三井、瀬尾、鎌田、鍛谷、高木、森本、杉浦、松崎、松下、勝山、宮本、郡、中野、内田、篠原、西川、吉田、福田、岩脇、安芸、藤岡、鈴木、梅原、安喜、近藤、湊、大西、宮田、梯、一宮、森、原、大藤、長井、武知、川上、五宝、後藤田、新野、真木野、庄山、津地、米田、長浜、伊藤、溝杭、川田、西、カワカミ、新居、吉岡、井高、松本、出口、多田、尾形、星合、浜口、渡部、瀬部、知野、月岡、後藤、井上、織田、多智花、河野、栗林、谷崎、甲斐、遠藤、杉山、盛、菅原、福井、折目、藤原、川野、小寺、野口、鎌田、天満、ゆめあい認定こども園、横田、上田、楠、津村、鈴江、佐々木、今井、春田、高野、木村、先山、富山、福田、石原、田中、笠井、梶原、新居、寿永、松本、平山、笠谷、北村、田口、曾我部、辻、板東、下村、釜内、森川、中川、美谷、六田、岸、早瀬、坪内、村賀、田河、近藤、長尾、ゴトウ、平山、戸村、井高、清水、北井、竹田、中平、豊川、影谷、栗飯原、前野、豊岡、後藤、原、中馬、大山、久米、藤本、藤原、徳島市社協、寺西、田所、木元、森岡、勝浦、小池、柳本、登、山内、松田、山下、岸岡、谷口、山口、森田、米田、藤川、佐藤、高橋、前田、女性グループ すいーぷ、中瀬、渡辺、奥田、武市、滝本、小笠、森、山田、大藤、加本、村田、播本、三木田

○美馬市○廣川、岸本、米里○東みよし町○谷口○吉野川市○奥田、小林、角野、矢島、金塚、那須、米沢、佐藤、山口、阿部、堀江、花侍、片山、遠藤、以西、住友、森本、太田、吉田○石井町○武知、三原、秋月、長篠、近藤、二イミ、田中、吉本、鎌田、木下、仲、大林、門條、岡田、(株)永和、高原、川崎、福本、山西、富士蔭、芝、近藤、戸田

○三好町○西野○神山町○上田、河野、中原、藤川、松村○藍住町○河野、萩田、西野、川野、三木、犬伏、安富、瀬尾、三好、山田、西谷、福山、三宅、誉田○阿南市○中谷、笠井、玉田、篠原、山川、松内、坂田、伊槻、岸本○阿波市○森長、長井、川崎、小出○鳴門市○吉成、小山、野田、笠井、山田、久武、山下、横畑、青木、馬居、高田○上板町○河野、板東、市川○板野町○田口、長尾、山本、濱田、赤沢○佐那河内村○多田○北島町○榎葉、中西、多田○つるぎ町○安永○勝浦町○中西、上野○小松島市○尾山、飛田、畑名、鍋島、浅利○牟岐町○坂本○海陽町○神沢○埼玉県○本田○大阪府○吉岡○千葉県○池田○福岡県○永峰



品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○辻本、福井、楨谷、かた川、川野、八木、中野、住田、谷、大櫛内科、平田、三木、矢野、山西、田中、生田、小椋、山室、中村、下村、森田、大高、大久保、デグチ、中川、川原、佐川、内田、西田、七條、小野、松浦、小渡、新開、蔵谷、吉澤、高藤、宇田、橋本、矢野、藤原、亀村、幸田、古江、松家、板東、サノ、ライフリビング、大北、松谷、佐藤、福島、井上、西谷、松本、中野、土肥、井内、山本、村本、寶城、あおばの杜 谷、エトウ、上原、上浦、宮本、原崎、釜内、上田、近藤、手塚、徳島中央高校 通信部 森岡、藤村、上西、美記、木谷、横山、橋本、坂東、西良、樋川、西岡、宇治製菓、檜、福井、木下、安井、吉村、古田、関口、塩津、尾杉、多田、長野、中尾、矢本、森脇、佐々木、川崎、山本、堀、井村、仲渡、河崎、西村、吉田、近藤、久次米、穴吹ハウジング 西上、健祥会学園 小谷、服部、神田、大石、山口、藤田、浅樋、新開、北野、片岡、松田、三好、山上、久住、渡部○鳴門市○NPO法人 JCI、ジャパン クリエイト徳島支所、辻、野曽場、久龍、斉藤、穴吹ハウジング 坂東、須藤、八木○藍住町○安芸、阿部、近藤、高橋、野本○石井町○後藤、川野、遠藤、友成、亀井、松本、花岡○上板町○岡谷、飯田、坂東、川田○小松島市○松村、中川、木下、新濱○板野町○山本、信田○吉野川市○河野○松茂町○平田

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられます。頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

いつも「フードロスをなくすために」とまだ食べられる食材を持って来て下さる竹條様(浄土真宗のお寺(尊光寺等)の皆様を代表して)をはじめ、お米、タケノコ、人参、ほうれん草、とうもろこし、ジャガイモ、ヤマモモ、ネギなどのお野菜、果物、お菓子、飲み物等を差し入れて下さった皆様も本当に有難うございました。

※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」とご記入頂ければ幸いです。



編集後記～収束、そして忘却

5月8日、新型コロナウイルスが感染症法上、インフルエンザと同じ「5類」の位置づけとなりました。今後はインフルエンザ同様、流行の状況に留意し、必要に応じて感染予防対策を行い、通常の生活に戻していく、ということでしょうか。

新型コロナ禍の3年半、世間ではいろいろなことがありました。

東京や大阪から人が来るとコロナに感染しているのではと疑心暗鬼になってしまった方、ウィルスを持ち込んではいけないと帰省をあきらめた方、他県から帰ってきて陽性と判明し気の緩みを非難された方、他県ナンバーの車に乗っていて「県内在住者です」というステッカーを貼ることを余儀なくされた方…。

新型コロナウイルス検査で陽性と判明した方の行動履歴が新聞の紙面を飾り、注意喚起という名のもとに差別や誹謗中傷を助長しかねない内容の報道が、連日テレビで繰り返されました。

「若者」や「飲食店」を悪者にする事で国民の不満をそらしたり、コロナ禍が収束しないのは国民が自粛に協力してくれないからだ、責任が転嫁されたり…。

不安心理がさらなる不安心理を呼び起こし、赤裸々にぶつかり合っていく中で、社会はどうなっていくのか、まざまざと見せつけられたように思います。

「戦争に協力しないのは非国民」と言われた時代から80年になりますが、本質的には変わっていないのでは、と思わされる瞬間がありました。

もうそんなことは過去のことなのかもしれません。ハンセン病の当事者の方に対する隔離と差別の歴史が忘れられようとしているように、コロナ禍で起きた出来事も忘れられていくのでしょうか。10年後、20年後、新たな感染症が現れたとき、また同じことが繰り返されるのでしょうか。(小山)。

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

発行：NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-642-1054

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎
ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田

宛名シール添付担当メンバー 堀
製本・発送作業担当メンバー 岡田

年会費：正会員 1万円 (総会議決権)

準会員 1,000円 (機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名：特定非営利活動法人太陽と緑の会